

採択事業 NO.10

種 別：自由提案型

団体名：宝塚第一小学校区まちづくり協議会

事業名：一小宝梅ハウスまつり

交付決定額：25,000 円

（事業を行おうとした動機）

宝塚第一小学校区まちづくり協議会（以下一小まち協）は「住民が住み続けたいまちづくり」を大きなテーマとして多岐にわたる活動に力を注いでいます。

「一小宝梅まつり」は

- ① 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）
- ② 次世代をはぐくむ（将来の担い手を育成）

ことを目指して、コロナ禍においても様々な対策と工夫のもと 4 年前から毎年開催しています。

一小宝梅ハウスで開催するイベントは、まち協活動の一端に触れて理解してもらうことで、将来の活動の担い手として活躍してくれる人を発掘することにもつながると考えて小規模ながら開催を継続してきました。

この一小宝梅ハウスは一小まち協の唯一の拠点です。

一小まち協が活動する上で、なくてはならない施設です。しかし、小学校の児童数増大に伴い、学校内に拠点を構えることができません。

また、昨今の物価高騰により自立運営の厳しさが増しています。これからも大切な拠点を維持していくためには利用者・支援者を今以上に増やす必要があります。

この観点から、一小宝梅まつりをできるだけ拡大開催して、一小宝梅ハウスをこれまで以上のアピールする新たな手段と位置付けたいと考えます。

昨今、自治会加入率が減少し、マンション建設も進む中、地域の繋がりが希薄になり住民同士の顔が見えなくなっています。

小さな場所の小さな活動ではありますが、「まつり」により多くの人が集い、「まつり」を通して世代間交流のきっかけにも繋がります。ここから将来の地域活動の担い手として活躍してくれる人材が出てくる可能性に大いに期待しています。

以上に加えて、利用者が少しでも増え、一小宝梅ハウスの運営が円滑になることを併せて期待します。

（事業を行う目的と期待される効果）

「一小宝梅ハウスまつり」は地域の賑わい、多世代交流の活発化、住民同士のふれあいの場づくりを目的として開催を継続しています。

これにより、一小宝梅ハウスの認知度を高め、利用者の増加を狙っていきたいと思います。将来のまつりの中で、宝梅ハウスを利用している書道教室の生徒作品の展示をはじめ、趣味の会の作品、高齢者サロン参加者の作品を来場者に披露します。日頃の成果の発表の場を提供することで学習意欲の向上に繋がることが期待できます。

このほかにも、シルバーカレッジ講座修了者の方々の協力も得て「バルーンアート」のコーナーも設けました。子どもたちに好評で、去年は過去最多の来場者数となり、世代間の交流にも一役買うことができたと思っています。

また、地域の方が特技を生かして「紙芝居」「プラレールの実演」等も行いました。人に喜んでもらえることで小さな達成感や生き甲斐にもつながるのではないかと考えます。

駐車場スペースを活用したカフェでは、来場者の休憩場所や隣合わせた人との語らいの場として、地域の交流を図ることができます。

来場者だけでなく、地域の方がボランティアスタッフとして参加することで、心身ともに活性化する機会になると思います。

一小宝梅ハウスが、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで楽しく集う場所として多くの住民に愛され、利用される施設になっていくことを期待します。

（事業の内容）

実施期間 令和5年10月末頃

実施場所 一小宝梅ハウス

回数 1回

参加予定人数 100名（スタッフ・コーナー講師を含む）